



## ● 令和 3 年 第 2 回 加古川市議会定例会が開催されました！

新型コロナウイルス感染症による影響の下、新たな生活様式へと希望に向け頑張る日々が続きますが不安は拭えません。

そうした中においても、あたたかな春を迎え、新年度がはじまりました。

令和 3 年 第 2 回 加古川市議会定例会では、主に令和 3 年度予算をはじめ、条例案件。また、令和 2 年度補正予算など、各議案について審議しました。

それぞれ審議等を通じ、大変厳しい社会情勢の中、「できない理由を探すのではなく、出来る理由を見つける」そうした思いで、これまで以上に市民に寄り添い、迅速な取り組みを行うことを要請した上で、各議案に賛成。全議案が可決されました。

加古川市は本年 4 月より、新たな総合計画のもと「夢と希望を描き 幸せを実感できるまち 加古川」の実現に向け、次の一步を踏み出します。着実に、そして大きな一步となるよう市民の皆様とともに、笑顔を絶やさず全力で頑張ります！

## ● 代表質問で登壇

### ■ スマートシティの推進において、行政サービスのスマート化による市民サービスについて

**市長：** 行政手続きをオンライン化することで、どこにいても簡単に行政手続きにアクセスし、サービスを受けることが可能と考えている。課題はあるが、順次整理を行い、新年度においては、行政手続きの電子申請を試行的に実施する予定。

最終的には、可能な限り行政手続きのオンライン化を進め、令和 4 年度より本格実施を目指している。これにより利便性の向上と窓口の混雑解消につながると考えている。

### ■ スマートシティの推進による高齢者への便益について

**市長：** パソコンやスマートフォンを使うことが苦手な高齢者の方に、どのように ICT サービスを提供するかという課題は大きいと認識している。一方で、見守りサービスなどもこの ICT サービスの一つであり、誰もが使いやすいサービスを提供し、その利便さを実感していただき、ICT の活用を広げていきたい。また高齢者大学でも ICT 活用の出前講座を行っているように、今後も支援の輪を広げ、高齢者にも大きな抵抗なく ICT ツールを利用していただき、幸せを実感していただきたいと考えている。

### ■ 学校の ICT 教育の推進において、教職員の技術や知識の差により、教育に格差が生まれないか。また、児童生徒の変化に気づく機会が減少するのではないか

**教育長：** 学習コンテンツ等を有効に活用するための研修をはじめ、支援員のサポートにより教員間における技能と知識の差の解消を図ります。また様々なコンテンツを活用することで、児童生徒個々の習熟度等に応じた学習に取り組めるほか、児童生徒と教員が関わる時間の確保が期待できる。



## ● 市内の県土木事業を視察

迎山県会議員とともに、私が所属する会派（かこがわ市民クラブ）により、市内で進められている県の土木事業を視察しました。

安全で快適に暮らせるまちに向けた整備において、安全確保及び事業の必要性が確認できました。

\* **東播磨道（南北道路）下村高架橋工事：** 総延長 12.1km のうち、北工区（6.9km）の工事が順調に進められ、今年度末には約 8 割が完了する予定となっています。

\* **国道 2 号、加古川橋下部工事：** 加古川橋西詰から坂本交差点の間の 4 車線化に伴う工事。橋の老朽化と西詰交差点の渋滞緩和に向け進められています。

\* **平荘町～上荘町山角バイパス工事予定地：** 現県道が狭く大型車両等通行の課題改善が図られます。

\* **上荘橋耐震補強工事：** 耐震補強に向け、限られた条件下での工事となるため、潜水作業を取り入れた特殊な工法により、安全にかつ円滑な工事が行われています。



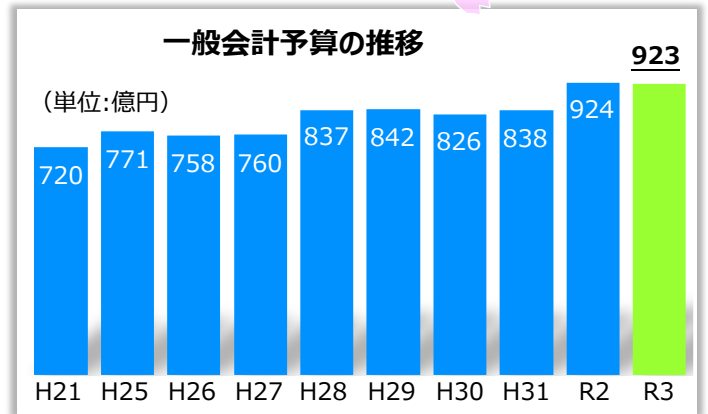
（東播磨道下村高架橋工事）

## ●令和3年度 一般会計予算について

**一般会計：923億4,000万円**（前年比：△8,000万円、△0.1%）

新年度予算において、まずは、市民の皆様、事業者の皆様が安心して生活を送ることが出来るよう、まずは、新型コロナウイルス感染症対策と新しい生活様式に適應していくことを重点に、子育て世代の支援、市のにぎわい及び活性化など定住人口の増加に向けた取り組み、そしてスマートシティの推進及び小中学校における情報通信教育の推進など、過去最大の昨年に迫る予算規模となっており、未来への希望が盛り込まれた予算となっています。

近年の予算規模においては、大型事業の推進、老朽施設の改修に加え、医療費等扶助費の増加により10年前と比較し、約200億円増加している状況です。



### 【一部事業紹介】

#### 【結婚～子育て応援】

- ◆子ども・子育て応援託児サービス〈465万円〉：主に家庭で育児をする保護者を対象に、子育てプラザで実施している託児サービスを無償化するとともに、定員枠、実施時間も拡充されます。
- ◆新婚新生活支援〈4,515万円〉：安心して新生活のスタートが切れるよう、新婚世帯に対して、住宅取得費用、住宅賃借費用、引越し費用等の一部を助成します。（対象は夫婦ともに39歳以下、所得制限があります）



#### 【医療・福祉の充実】

- ◆乳がん検診助成〈1億5,333万円〉：乳がん検診の受診機会が増えます。40～50歳の方を対象に、無料クーポンの個別健診と同様に、保健センター以外の4院での乳がん健診の受診においても補助が受けられます。（2年に1回：自己負担1,000円）
- ◆新生児聴覚検査費助成〈668万円〉：新生児が生後間もなく受検する聴覚検査の一部を助成。難聴の早期発見、早期支援につなげます。
- ◆妊婦健診費助成〈1億5,550万円〉：多胎児を妊娠した妊婦を対象に、既存の妊婦健診助成券に加えて追加の助成券を交付。経済的負担の軽減を図ります。
- ◆高齢者タクシー利用助成：高齢者のコロナワクチン接種にあたり、接種会場への交通手段の確保として利用助成券が配布されます。〈2,930万円〉 ※発着のいずれかが接種会場の場合利用可能（片道500円×4回：接種クーポンとともに送付されます。）

#### 【にぎわいとまちの活力を創出】

- ◆公共施設の移転、再編〈10億7,048万円〉：JR加古川駅周辺のにぎわい創出と利用者の利便性向上を目的に、加古川図書館および市役所周辺の貸館機能や、行政機能の一部を駅南のヤマトヤシキ（カピル21ビル）に移転します。
- ◆加古川河川敷を活かしたにぎわいづくり〈4,715万円〉：JR加古川駅に近い河川敷を活かした魅力的なにぎわい空間の創出を官民協働で目指します。また、誰もが気軽に安心して楽しめるような冬のイルミネーションイベントを予定しています。

#### 【スマートシティの推進】

- ◆スマート手続きの推進〈262万円〉：自分のライフイベントに必要な手続きがスマートフォン等で検索できるシステムを導入。また、住民票の写し、印鑑登録、戸籍謄本等の証明書等、行政手続きにおいて、マイナンバーカードを利用した個人認証とクレジットカードによるキャッシュレス決済を用いた電子申請が試行的に実施されます。
- ◆ICT見守りサービス〈435万円〉：見守りサービスの利用促進に向け、利用を希望する新1年生を対象に、初期登録料及び1年間の月額利用料が無料で利用できます。



## ～春の加古川 自然を楽しんで♪～



#### 権現総合公園

権現ダムに隣接する公園です。オートキャンプ場もあり家族で楽しめます。近くの展望台（標高101mの入道山）では、4月にコバノミツバツツジが満開。権現湖が一望できて気持ちがいい！ぜひ一度足を運んでみてください♪（私も里山保全を経験させていただいている公園です）

